PART4 主権国家体制の確立

Chapter1　主権国家体制の確立

目標
中世末期に衰えた「普遍的」権威とは何かを知ろう。
国王の支配する主権国家に必要な２要素を学ぼう。

1　主権国家

①中世的秩序の衰退→諸国は恒常的な緊張状態に

A　ルネサンスや宗教改革によりヨーロッパの中世的秩序は衰退
14～15 世紀に動揺し始め，16 世紀には決定的に衰退し〔　　　　〕に移行。

B　**カトリック教会（教皇）**や**神聖ローマ帝国（皇帝）**の「普遍的」権威は激しく動揺
各地の〔　　　　〕たちが力を強め封建領主たちの政治的独立性は減る
※ 16 世紀には，各国が自立の傾向を強め自国の利益を求めて戦争を繰り返す。

②戦争の長期化・大規模化

A　軍事革命→小銃・大砲など火器の登場

B　〔　　　　　　〕の登場→国家の維持と重商主義の競争のために必要

③国内の統一的支配の強化

A　封建領主である諸侯〔大貴族〕・騎士〔小貴族〕を抑え**中央集権化**を進める

B　軍事費調達のために徴税を重視

C　**官僚制〔官僚機構〕**を備えた行政組織整備の必要性

D　自国の支配領域を明確な**国境**で囲い込む

④〔　　　　〕**国家**の登場→近代国家の原型

主権者として**国王**などの君主が外国に対して国を代表する
※内外の干渉を受けずに政治を行う権限である**主権**は，王家の財産として継承された。

2　主権国家の形成期

①**絶対王政**の登場→スペイン・イギリス・フランス・オーストリア・プロイセンなど

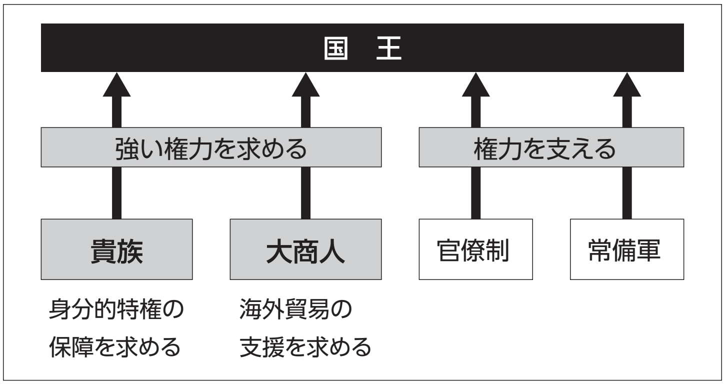
王権神授説を基礎に主権を持つ国王が中心となる強力な統治体制

※しかし，社会的権威は失っても貴族・聖職者の特権と地位は維持され，国王による国民の直接支配を妨げる。

②ブルジョワジー〔有産市民層〕の地位向上

国王が大商人・金融業者らに経済上の特権を与えて協力関係を強める

※西ヨーロッパでは，**問屋制**家内工業や工場制手工業〔マニュファクチュア〕が広まり，資本主義的生産の前段階・準備段階が進行。



主権国家形成のメカニズム

3　主権国家体制の確立

①多様な主権国家

規模・政治体制・言語・宗教・経済力・軍事力などは国家によりさまざま

※新たな税制や法律を定め言語の統一も進める

②**主権国家体制**の確立→ 1648 年の〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**条約**が画期

のちヨーロッパから全世界に広がり現在まで続く国際秩序

※国際社会の**対等な構成員**として外交使節団を派遣し合い，協力・拮抗しながら時には国際会議を開き，相互の利害を調整。

まとめ

中世の「普遍的」権威はカトリック教会の教皇と神聖ローマ帝国の皇帝。

主権国家に必要なものは常備軍と官僚制〔官僚機構〕。

Chapter2　ヨーロッパの各地の主権国家

目標

16 世紀半ばと 17 世紀前半に全盛を迎えたそれぞれの国を知ろう。

ユグノー戦争と三十年戦争に共通する性格を理解しよう。

1　スペインの全盛

1494年～**イタリア戦争**（～1559 年）

※**ハプスブルク家**と〔　　　　　　　　〕**王家**の対立。

1527年　**カール５世**による「ローマの劫略」vs フランソワ１世

※スペイン＝ハプスブルク家のカルロス１世が神聖ローマ皇帝カール５世を兼任

1556年　スペインで〔　　　　　　　　〕**２世**即位

1571年　〔　　　　　　　　〕**の海戦**でオスマン帝国を破る

1580年　フェリペ２世がポルトガル王位を兼ねる（西・葡の同君連合は 1640 年まで続く）

※スペインは「〔　　　　〕**の沈まぬ国**」として全盛を誇る

2　オランダの独立とイギリスの進出

1568年～ネーデルラント諸州がスペイン王フェリペ２世に反乱

※〔　　　　　　　　〕**独立戦争**開始。

1581年　**ネーデルラント連邦共和国**独立

1588年　**スペイン無敵艦隊〔アルマダ〕**がイギリス〔　　　　　　　　　　〕**１世**に敗れる

※オランダ独立を支援した**テューダー朝**のイギリスを攻撃し返り討ちにあう。

1600年　**イギリス**〔　　　　　　　　〕**会社**設立→アジア方面に進出

※イギリスは囲い込み〔エンクロージャー〕を経て**毛織物工業**が国民産業に。

1602年　**オランダ**〔　　　　　　　　〕**会社**設立→中継貿易を展開

1609年　オランダ独立戦争休戦でオランダが独立を勝ち取る

※〔　　　　　　　　　　　　　　〕が国際金融の中心都市となる。

3　フランスの内乱と絶対王政

1562年～〔　　　　　　　　〕**戦争**（～98 年）

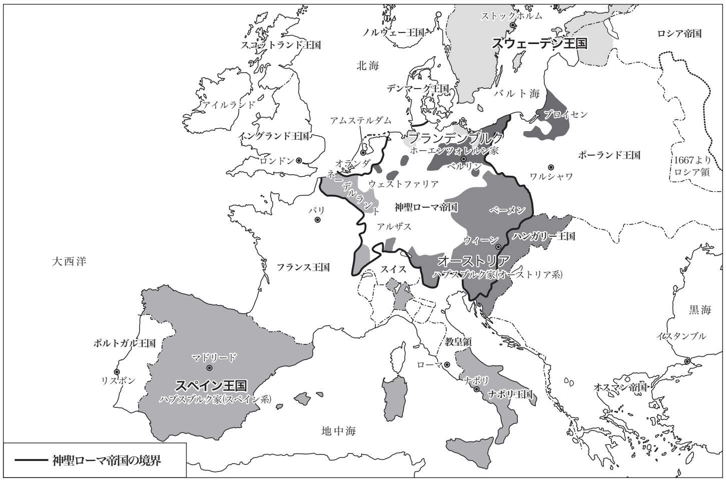
1572年　**サンバルテルミの虐殺**→多数の新教徒が殺害され戦争は激化

1598年　〔　　　　　　〕**の王令〔勅令〕**

※旧教に改宗した**ブルボン朝**初代のアンリ４世が新教徒を懐柔。

その後，**ルイ 13 世**の**宰相リシュリュー**や**ルイ 14 世**治世前期の**宰相マザラン**により王権は強化。特に 1648 年の**フロンドの乱**で貴族勢力（高等法院）が一掃される。

4　ドイツ三十年戦争



17世紀半ばのヨーロッパ

1618年～〔　　　　　　　〕**戦争**（～48 年）

→宗教戦争から覇権争いへ

※ベーメン〔ボヘミア〕のプロテスタントが，カトリックのハプスブルク家による信仰強制に反抗。神聖ローマ皇帝側についた旧教国スペインや傭兵隊長**ヴァレンシュタイン**と新教国デンマークやスウェーデン国王**グスタフ＝アドルフ**が戦う。戦争末期には旧教国フランスが新教勢力と同盟して皇帝と戦うなど大混乱。

1648年　ウェストファリア条約→神聖ローマ帝国は解体され**主権国家体制**が確立

※ドイツの諸侯にほぼ完全な主権が承認され（領邦国家），

〔　　　　　　　　　　　　　〕**家**の勢力は後退。

※スイスとオランダは正式に独立。北ドイツで**プロイセン**が急成長し，

〔　　　　　　　〕ではイヴァン４世〔雷帝〕後の内紛を経て，**ロマノフ朝**が成立。

まとめ

16 世紀半ばはスペイン，17 世紀前半はオランダが全盛を迎えた。

ユグノー戦争と三十年戦争は，カトリックとプロテスタントの宗教戦争。

第０講 PART4　確認問題

1 近世の主権国家において，主権をもち，国を代表した人はだれか。

① 国王　② 教皇
③ 国民　④ 貴族

2 絶対王政の理論的根拠となった考えは何か。

① 三位一体説　② 地動説
③ 王権神授説　④ 単性論

3 近世の西ヨーロッパで広がった，商人が農民や職人に原材料や道具を貸し出して加工させ，代金を支払って生産物を引き取る生産様式は何か。

① マニュファクチュア〔工場制手工業〕　② 再販農奴制
③ 官僚制　④ 問屋制

4 1648年に結ばれた三十年戦争の講和条約で，主権国家体制の確立につながった条約は何か。

① トルデシリャス条約　② ウェストファリア条約
③ カトー＝カンブレジ条約　④ ネルチンスク条約

5 フェリペ２世が，オスマン帝国を破った戦いは何か。

① レパントの海戦　② アルマダ海戦
③ イタリア戦争　④ シュマルカルデン戦争

6 スペインの無敵艦隊を破ったイギリス国王はだれか。

① ヘンリ８世　② フランソワ１世
③ エリザベス１世　④ カルロス１世

7 イギリスでは1600年に，オランダでは1602年に，アジア方面との貿易を行うために設立されたものは何か。

① 常備軍　② 東インド会社
③ ユトレヒト同盟　④ ヴォルムス帝国議会

8 16世紀後半，フランスで起こった宗教戦争は何か。

① フロンドの乱　② ワット＝タイラーの乱
③ フス戦争　④ ユグノー戦争

9 三十年戦争を経て，勢力が衰退した一族は何か。

① ホーエンツォレルン家　② ブルボン家
③ ハプスブルク家　④ メディチ家

10 17世紀前半，ロシアで成立した王朝は何か。

① ロマノフ朝　② テューダー朝
③ ヴァロワ朝　④ カペー朝

第 0 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：①

近世ヨーロッパでは，国王が主権をもち，国を代表する主権国家体制が確立した。

②：中世において大きな権威をもった。
③：国民の権利が主張されるようになるのは，市民革命以降である。
④：近世では，中央集権化を進めるため，貴族の権利は抑えられた。

2 解答：③

王権神授説とは，王権は神から授けられた神聖なものであるとする説。

①：キリスト教において，神とイエス，聖霊の三者は同質であるとする説。
②：「地球が太陽の周囲を回っている」とする説。
④：キリスト教において，イエスに神性のみを認める説。

3 解答：④

問屋制はおもにイギリスの毛織物産業でさかんに行われた。問屋制の広がりは，のちの資本主義経済へとつながった。

①：資本家が工場に労働者を集め，分業形式で手工業によって生産する様式。
②：16 世紀以降，プロイセンを中心に広がった農民支配を強化する体制。
③：絶対王政期に成立した，国家行政を担う役人集団体制。

4 **解答：②**　ウェストファリア条約は，多くのヨーロッパ諸国が参加した国際会議でまとめられた。

①：1494 年に設定された，スペインとポルトガルの海外領土分割に関する条約。
③：1559 年に結ばれた，イタリア戦争の講和条約。
④：清とロシアの国境画定条約。

5 **解答：①**　1571 年に起こった，スペインとローマ教皇，ヴェネツィアの同盟軍とオスマン帝国軍との戦い。

②：1588 年に，エリザベス１世がスペインの無敵艦隊〔アルマダ〕を破った戦い。
③：1494 ~ 1559 年，フランスと神聖ローマ帝国がイタリアの覇権を争った戦い。
④：シュマルカルデン同盟と神聖ローマ帝国の信教の自由をめぐる戦い。

6 **解答：③**　エリザベス１世は，スペインのフェリペ２世の無敵艦隊〔アルマダ〕を破り，海外進出を進めた。

①：イギリス国教会を設立した国王。
②：ルネサンスを保護したフランス国王。
④：スペイン国王。のちに神聖ローマ帝国の皇帝カール５世として即位した。

7 解答：②　オランダ東インド会社はジャワ島のバタヴィアを拠点とし，イギリス東インド会社はインド・中国貿易を中心に栄えた。

①：絶対王政期に常時置かれるようになった軍隊。
③：オランダ北部７州が，独立に向けて結束を強化するために結んだ同盟。
④：神聖ローマ帝国のカール５世がルターを召喚した議会。

8 解答：④　フランスの宗教戦争で，ブルボン朝のアンリ４世がナントの王令を発して，終結した。

①：フランスのルイ 14 世のころに起こった反乱。
②：1381 年にイギリスで起こった農民反乱。
③：宗教改革期のチェコで起こった戦争。

9 解答：③　ハプスブルク家は，オーストリアの名門王家で，神聖ローマ帝国の皇帝位をおもに継承した。

①：プロイセンを支配した一族。
②：フランスのブルボン朝を開いた一族。
④：イタリアで，ルネサンスを保護した一族。

10 解答：①　ロマノフ朝は，モスクワ大公国のイヴァン４世〔雷帝〕没後の動乱を経て，ミハイル＝ロマノフが開いた王朝。

②：15 世紀に成立したイギリスの王朝。
③：14 世紀に成立したフランスの王朝。
④：10 世紀に成立したフランスの王朝。